

一 般 質 問 通 告 書

2018年 5月29日

前

午 0時00分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2018年 5月29日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員竹内 祐子



質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	自治基本条例の制定について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	自治基本条例の制定について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市議会では、平成 27 年 4 月「湖西市議会基本条例」を制定し、「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」をモットーに議会改革に取り組んでいる所です。</p> <p>市政においては、人口減少、税収の減収、少子高齢化に伴い介護、医療費等は大幅に増加する見込みです。今後、大倉戸茶屋松線道路整備事業、市民会館建設、ごみ焼却施設の再稼働等の大型事業が予定されています。公共施設再配置計画を推進していくためにも予算確保は課題です。持続可能な市政運営をしていくためには、市民と議会と行政の理解と協力が不可欠です。そこで、自治体の仕組みの基本原則である自治基本条例についての考えを伺います。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>自治基本条例の制定によって自治の仕組みと原則を定め市民、議会、行政の役割と責務と権利を明らかにし三者がまちづくりへの協働と健全な財政運営を図っていくため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 影山市政における市民協働のまちづくりについての考えを伺う。 (やりたいこと、やるべきこと) 2. 今後の健全な財政運営についての考えを伺う。 3. 自治基本条例の制定についての考えを伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 5 月 29 日
前

午後 5 時 10 分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 30 年 5 月 29 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 佐原 佳美



質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	就学援助費（新入学用品費）の支給時期の見直しについて	
2	女性の視点を活かした命を守る防災対策の推進について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	就学援助費（新入学用品費）の支給時期の見直しについて
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="236 528 730 562">（質問しようとする背景や経緯）</p> <p data-bbox="213 584 1358 775">これまで、経済的に厳しい家庭の子どもの就学費用の一部を国の補助も得て支給する「就学援助」は、国の「要保護児童生徒援助費補助金交付要綱」における国庫補助対象が「小学校入学前」は含まない形であったため、多くの市区町村で「入学後」の支給となっていました。</p> <p data-bbox="213 797 1374 1144">しかし、小学校入学前にランドセルや制服等の購入が必要で、生活困窮家庭にとっては、一時的でも多額のお金を用意することは大変ということから、昨年（2017年）の3月10日、衆議院文部科学委員会に於いて公明党の富田茂之衆議が「国が要綱を改正すれば（入学前支給は）できる。早急に検討を」と主張し、当時の義家文部科学副大臣が「速やかに行いたい」と答弁され、同年3月31日付で自治体への補助金交付要綱を改正し「小学校への入学年度開始前」に支給できると明記されました。</p> <p data-bbox="213 1167 1350 1357">その改正を受けて、今春から小学校入学前支給を予定した自治体は、全国で711市区町村に上り、それ以前の約8倍、中学校は要綱改正前から入学前支給は可能でしたが、今回の改正に合わせ入学前支給は、浜松市を含む約5倍の自治体と本年3月の新聞報道にありました。</p> <p data-bbox="213 1379 1366 1469">ランドセルは、今や5万円から10万円と高額で、販売斡旋時期も入学前年の5月頃からです。</p> <p data-bbox="248 1491 1190 1525">当市においても現実に則した時期の支援が必要と思います。</p> <p data-bbox="229 1648 440 1682">（質問の目的）</p> <p data-bbox="213 1704 1350 1794">入学後の7月に支給されている当市の「就学援助費」の内の「新入学用品費」を入学前に支給できる制度に改めるべきと思います。質問します。</p>	

(質問事項)

1. 教育委員会は、2017年3月31日付 国の「要保護児童生徒援助費補助金交付要綱」の改正を承知されており、昨年9月議会の一般会計決算特別委員会で私が生活困窮家庭に就学に必要な費用の「支給内容と支給時期は適切か」と質疑した際「入学前での支給について、今後、近隣市町と連絡を取り合いながら調整して参りたい」と答弁されたと思いますが、近隣市町の状況をどのように把握されましたか。

2. 来年度の新入生に今年度中に「就学援助費」の内の「新入学用品費」を支給できるように検討されていますか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	女性の視点を活かした命を守る防災対策の推進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>本年3月3日に受講した、岡部梨恵子防災アドバイザーによる湖西市防災講演会「いのちを繋ぐ備蓄」は、これまで受けてきた防災講演とは異色の、家庭で直ぐ取り組める、取り組まなければならないと思う「女性の視点で命を守る」防災・減災対策の紹介がありました。</p> <p>「被災時の温か食事の調理法（パッキング）」、食材の「ローリングストック（回転備蓄）法」、落下物の危険回避や避難路確保、備蓄スペースを設けるための「屋内の片づけ」、非常持ち出しグッズ、トイレ用品等々の具体的なご教示に初めて知ったものが多く感心し、感動ですらありました。</p> <p>私はその後、実際のパッキングを学びに東京で開催された岡部先生の教室に参加してきました。</p> <p>当市の講演でも述べられた、「被災した心を癒すのは温かい食事から」そこから、避難所の感染症やいざこざトラブル回避、ひいては犯罪の減少につながる効果が期待できる等々のお話も伺いました。</p> <p>このような女性の視点で、市民が取り組み易い防災・減災対策を普及、推進したいと思いました。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>こどもから大人、外国人にも分かり易い女性の視点を活かしたリアルな防災・減災対策を平時に縷々推進して、有事に市民の命を救って頂きたい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 湖西市民に全戸配布されている災害対策の冊子類は、2014年作成の津波浸水域などを示した地区別の「湖西市ハザードマップ」、県の様式で作成された「地震防災ガイドブック」と「家族でつくる！わが家の防災マニュアル」の3種類があります。ガイドブック、マニュアル</p>	

は、大変丁寧に作られておりますが、女性が手軽に取って読みたい情報や構成になっていないように思います。

福岡市の『女性の視点を活かした防災ミニブック』や菊川市の『～災害から命を繋ぐ～2017 家庭の防災ガイドブック〈女性の視点を活かした防災対策〉』、東京都の『東京暮らし防災』等女性の視点を活かした、日常的に実践して災害に備える内容やパッククッキングを含む避難所での暮らし方も網羅されている女性の視点を活かした防災ガイドブックを新たに湖西市版として作成する意向は如何でしょうか。

2. 福岡市の『ツナガル+ (プラス)』や東京都の『防災アプリ』のような、平時は防災関連情報を配信したり地域の情報を共有でき、災害時は安否確認、近隣避難所への案内や指定外避難所、在宅避難等の情報を共有し支援に役立つ等の防災アプリを導入する意向は如何でしょうか。

3. 次世代の地域防災活動を担う「ふじのくにジュニア防災士」の養成、認定が昨年小山町立北郷中学校と島田市立川根中学校で行われました。静岡県が小中高校生を対象に実施しておりますが、2016年からは、各市町が独自で行う養成講座も認定の対象になっています。災害被害の風化により、防災意識が低下しつつあることから、当市に於いても「ふじのくにジュニア防災士」の養成を検討しては如何でしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成30年5月30日

前
午 9 時 18 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成30年5月30日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 土屋 和幸 (印)

質問方式 (○を付ける)		一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題	
1	自治会の負担軽減について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	自治会の負担軽減について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>自治会へ毎月膨大な量の業務が依頼され、その処理に役員のみなさんが翻弄されています。その状況を見ている地域の人たちが自治会の役員に成ることを躊躇する実情があります。</p> <p>今年度から自治会地域活動補助金が見直され、市の財政事情が厳しいのも承知していますが、地域もいろいろな悩みがあります</p> <p>そうした事情も踏まえ、市はどう考えているかお伺いします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>地域のみなさんが自治会に参加しやすく、自治会の役員が運営しやすい環境になってほしいので質問いたします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市が依頼している業務はどのくらいあるか。(市の外郭団体も含む) 2. その業務を減らす努力をしているか。 3. 自治会地域活動補助金が見直され、加入世帯割に変更になったことから避難所の運営時、地区の祭り、地域の見守り活動等において自治会の会員と非会員と差別しなければ運営が難しくなることが想定されるが、市はどのように考えているか。 	

質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 5 月 30 日

前
午 10 時 55 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 30 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 二橋益良 様



湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	無電柱化の推進について
2	湖西市の農業用水（湖西用水）について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

1

無電柱化の推進について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

電線を地中に埋設することは、電柱や電線を道路上に設置することを抑制したり、災害の防止、安全で円滑な交通の確保、良好な景観形成につながり、国は重要な施策として推進している。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控えインバウンド観光の受け入れや、大規模地震などの災害に備えるため、これまで以上にその推進が求められ平成28年12月に「無電柱化の推進に関する法律」が公布・施行され、無電柱化推進への期待が高まっている。

また、東日本大震災時には、内陸から沿岸部に向かって“くしの歯作戦”が展開され道路整備が行われたが、その際、倒壊した建物の瓦礫の撤去作業に倒れた電柱が障害になったと聞いている。

さらに、平成30年4月には湖西、浜松両市で地域連携しながら観光振興を担うDMO「浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」が発足した。ものづくり都市から観光都市になるための拠点施設を活用し「住んでよし、訪れてよし湖西市」のPRと共に“浜名湖”や“新居関所”などの観光資源を積極的に発信し湖西地域を観光面からも活性化すべきと考える。

そのような中で、湖西市内では、平成26年度に国道301号泉町交差点から新居関所までの無電柱化事業完了後、新たな事業は実施されていない。

「防災や観光振興の見地から無電柱化の推進が必要である」との観点から、道路管理者が行っている無電柱化の取り組み状況について伺う。

(質問の目的)

安全で円滑な交通の確保と災害の防止、良好な景観形成のため

(質問事項)

1. 湖西市は太平洋沿岸部が津波浸水想定区域になっているため、大規模地震により津波が発生し被害を受けた場合には、東名高速道路や新東名高速道路を利用した支援・復旧活動を受け入れるため指定幹線道路が緊急輸送道路となるが、どのように無電柱化の取り組みがされているか伺う。
2. 観光地の無電柱化の推進は、歴史的景観保持や街並み保存、観光環境資源維持に重要な役割であると考えているが、観光施設として知名度の高い新居関所周辺における無電柱化の今後の取り組みについて伺う。
3. 電線を地下に埋設する方法として、電線共同溝方式での国、県、市、企業の費用負担の状況について伺う。
4. 無電柱化の推進に関する施策を総合的に実行していくうえで県・国に対し財政面も含め支援を求める必要があると考えているが、市の取り組みを伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

質 問 の 要 旨

（質問しようとする背景や経緯）

豊川用水は、奥三河の山々に降った雨を頭首工で取り入れたり、宇連ダムと大島ダムで貯めている。水路によって渥美半島や湖西市等に送られた用水は、農業 70%、水道 24%、工業 6%の割合で使用されており、昭和 43 年 6 月から通水を開始してより本年 6 月で 50 周年を迎える。

湖西市では、湖西用水として白須賀支線から白須賀、上の原岡崎、大森、新所地区の農地に、雲之谷支線からは梅田、神座、太田、入出地区の農地に用水が送配水され、その受益面積は 540 ヘクタールと広大な農地が豊川用水の恩恵を受けている。また、工業用水は、雲之谷支線から農業用水と共用で導水し梅田浄水場より湖西・新居地域の 20 社余の工場に日量 3 万トンを超す給水がされ、工業発展に寄与している。

これまで、これら用水の施設維持や水質保全のため多額の費用負担がされているなか、今後の農業振興を図るために農業用水の現状と将来の維持管理について伺います。

（質問の目的）

安定的な用水供給のため農業用水施設の持続的な維持管理が必要と考えるため

（質問事項）

1. 豊川用水より導水された用水は、湖西市の農業や工業における発展の礎となっているが、市として先人の労苦によって通水 50 年を迎えている豊川用水からの恩恵をどう捉えているか伺う。
2. 豊川用水より湖西市内に導水された農業用水は、湖西用水として農用地 540 ヘクタールを潤す貴重な用水であるが、これらの導水路は、老朽化しこれまで施設の改修、改築が進められている。用水の安定供給には今後も施設の維持修繕が必

要となるが市として今後の対応への見解を伺う。

3. 農業用水の施設改修や施設の維持管理費用は、受益者負担が原則であるが、農業者の高齢化や離農者などにより維持管理等の費用負担が今後困難な状況が生じて来ると予測される。市として、どのような対策や支援が必要であるか考えるか見解を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 5 月 30 日

前
午 11 時 55 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 30 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様



湖西市議会議員 福永桂子



質問方式 (○を付ける)		<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	学校施設のトイレの洋式化と空調設備の導入について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	学校施設のトイレの洋式化と空調設備の導入について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>公立小中学校の教育の充実の観点から、教育を行うための諸条件の整備は重要です。</p> <p>文部科学省は、「学校施設整備指針」を定めており、学校教育を進める上で必要な施設機能を確保するために、計画及び設計における留意事項を示しています。小学校では、「小学校施設整備指針」が、平成4年に作成されましたが、その後の少子高齢社会への移行や、情報通信技術の発展による社会状況の変化、学習指導要領の改訂に対応するため、平成13年3月に全面的に改訂されました。それから、幾度も改訂され、バリアフリー化に関すること、外国語活動に関すること、防災機能の強化などに関する記述を充実しています。平成28年3月の改訂では、義務教育学校の創設など学校施設を取り巻く今日的課題に対応するための記述を充実しています。このように、学校施設の整備のあり方については、その時々時代の背景や社会環境に合わせて変化してきました。</p> <p>また、小中学校の施設整備は基本的に国の補助事業を中心に成り立っています。その国庫補助事業についても広範に制度が構築されており、また、それぞれの事業ごとに複雑な条件等が設定されています。</p> <p>義務教育において大切なことは、子どもたちが知識を習得し、様々な思考をするために最適な学習環境整備がなされていることです。また、学校は子どもたちが1日のうちの多くの時間を過ごす生活の場でもあることを考えれば、子どもたちの健康の維持のためにも生活環境も学習環境と同じように早急に快適なものに整備すべきではないでしょうか。</p> <p>このような学校の施設整備について、トイレの洋式化と空調整備に焦点を当てて質問いたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>次世代を担う子どもたちのための環境整備が焦眉の急であると共に、教育環境を整備することで加速化する都市間競争に打ち勝つため。</p>	

(質問事項)

1. 児童・生徒にトイレの洋式化と空調整備について現状の学校生活で困ることなど、アンケートを実施しては如何でしょうか。
その上で、湖西市の小中学校の学習環境及び生活環境の改善のために、トイレの洋式化と空調整備に焦点を当てて「総合教育会議」を招集するお考えはありませんか。
2. 文部科学省は今年4月2日付けで学校環境衛生基準を変更し、これまで「10℃以上 30℃以下」であった望ましい室温を、エアコン慣れした児童生徒の増加に伴い、「17℃以上 28℃以下」にしました。この変更をどう捉えて対応していく考えですか。
3. 学校施設は、災害発生時には応急避難所の役割を担います。特にトイレの状況は健康障害や震災関連死等に密接に繋がっています。その実状を踏まえた上で、洋式化を進める考えはありますか。
4. 湖西市立小中学校普通教室の空調設備とトイレの洋式化の導入に要する整備費用をお聞きします。
5. トイレの洋式化と空調整備について、湖西市はどのような計画に基づいて国の補助事業を活用していますか。また、その実績は最近3年間でどのように推移していますか。
6. 環境整備には国の補助金を有効活用することが望ましいと思うが、国の補正予算の動きを的確に捉え、補正が出た場合にすぐに対応できるよう、湖西市としてどのような準備をしていますか。
7. 現在の社会状況に鑑みれば、トイレの洋式化と空調整備は、教育を行うための諸条件の整備として市の責務と考えますが、整備率の最終目標数値をどこに定めておられますか。
8. 快適な教育環境を整備して、都市間競争における湖西市のシティプロモーションの売りを教育におくことについて、市長はどのようなお考えをおもちですか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること